

# 食品安全委員会の委員が代わりました。

平成15年7月の食品安全委員会発足時に委員に就任し、平成18年12月からの2年半の間に委員長の重責を担った見上 彪委員が、平成23年1月をもって退任いたしました。後任として熊谷 進 東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授が、国会同意のもと、新委員に就任しました。

## 新任挨拶

くま がい すずむ  
熊谷 進

新・食品安全委員会委員長代理



今回新しく委員に選任されました熊谷です。国立感染症研究所では、食品衛生微生物部長を務め、その後東京大学大学院農学生命科学研究科に移りまして、獣医公衆衛生学の教授および食の安全研究センター長を務めてまいりました。

また、平成19年からは食品安全委員会の微生物・ウイルス専門調査会やかび毒・自然毒専門調査会の専門委員としてもリスク評価にかかわってまいりました。研究所と大学において、かびがつくる毒素と食中毒細菌に関する研究を行ってきました。今後はこれまでの経験を活かして、食品安全委員会委員として貢献していきたいと考えております。

## 退任挨拶

み かみ たけし  
見上 彪

前・食品安全委員会委員長代理(元・委員長)



7年半を通じた感想を申し上げます、残念に感じたこととして、BSE(牛海綿状脳症)について、「安全性」ではなく、「安心」を求める風潮になってしまったことがあります。良かったこととしては、遺伝子組換え食品等専門調査会などの専門調査会において、立派な評価ガイドラインが作成され、それに沿ってリスク評価が進められるようになったことです。

必要なリスク評価などが遅滞なく着実に進められることを期待していますが、そのためには、それぞれ高い専門性をもった7名の委員はもちろんのこと、専門調査会や事務局を含めた組織力が重要です。食品安全委員会のさらなる発展を祈念いたします。

## ジュニア食品安全ゼミナールを開催

### ★食品安全への関心を育む

食品安全委員会では、平成22年度から中学生を対象に「ジュニア食品安全ゼミナール」を開催しています。これは、食品安全委員会委員と直接意見を交換することを通して、中学生に食品の安全性に興味を持ってもらい、冷静に判断する目を育むことを目的に、地方公共団体との共催で行っています。22年度は11月の徳島県に続き、12月に長崎県、平成23年2月に高知県で開催しました。

### ★反応の良さに手応え

12月13日のゼミナールは、長崎県西彼杵郡の時津町立時津中学校において、生徒205名、保護者56名の参加を得て行いました。まず、クイズとレクチャーで、食べ物の摂取量に

は適切な量があることや、食中毒を防ぐためには手洗いが効果的だということなどを、生徒の皆さんに楽しみながら学んでもらいました。次は、食品安全委員会の野村一正委員と生徒たちによる意見交換です。「今の食品は安全なのですか?」「安全なものそうでないものの区別はどうやってするのですか?」などの質問が出され、野村委員がリスク評価の内容や、科学的な知識・情報・経験・直感の4つの分野を組み合わせる総合的に考えることが大事であることなどを、ていねいに答えました。最後に生徒代表から「ゼロリスクの食品はないということがよくわかった。手洗いやうがいもきちんと行いたい」という感想が



述べられ、1時間あまりのゼミナールは楽しく活発な雰囲気の中、終了しました。野村委員が「中学生対象のこういった企画は有効。理解が進んでいることがわかる」と述べる通り、中学生の反応の良さに手応えを感じたゼミナールでした。ご協力くださいました各校にも感謝します。

### ジュニア食品安全ゼミナール 開催実績

開催日	共催自治体・実施校	参加生徒数
平成22年 11月 8日(月)	徳島県・阿南市立阿南第二中学校	一年生 61名
平成22年 12月 13日(月)	長崎県・時津町立時津中学校	二年生 205名
平成23年 2月 2日(水)	高知県・香南市立夜須中学校	二年生 34名